

貸借対照表

(平成22年12月31日現在)

(金額単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	1,104,151	固定負債	358,685
有形固定資産	1,035,598	長期借入金	114,400
供給設備	998,985	未払高度化資金	104,967
業務設備	27,321	未払協調融資金	26,873
建設仮勘定	9,291	退職給付引当金	12,958
無形固定資産	187	ガスホルダー修繕引当金	16,484
投資その他の資産	68,365	ガスメーター修繕引当金	59,923
出資金	2,200	その他固定負債	23,080
高度化資金差入保証金	30,046	流動負債	384,134
保全基金負担金	503	1年以内に期限到来の固定負債	75,472
繰延税金資産	34,331	買掛金	7,615
その他投資	1,284	短期借入金	160,000
流動資産	166,879	未払金	50,470
現金及び預金	35,005	未払費用	13,082
売掛金	109,945	前受金	673
未収入金	2,036	預り金	6,320
製品	1,182	関係会社短期債務	30,896
貯蔵品	14,234	その他流動負債	39,603
高度化資金前払償還金	3,128	負債合計	742,819
繰延税金資産	1,130	純資産の部	
その他流動資産	1,094	株主資本	528,210
貸倒引当金	△879	資本金	60,000
資産合計	1,271,030	利益剰余金	468,210
		利益準備金	15,000
		その他利益剰余金	453,210
		別途積立金	358,000
		特別償却準備金	5,230
		繰越利益剰余金	89,979
		純資産合計	528,210
		負債及び純資産合計	1,271,030

個別注記表

〔平成22年 1月 1日から
平成22年12月31日まで〕

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) たな卸資産の評価基準及び評価方法

製品・貯蔵品……………先入先出法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価の切下げ方法)

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

建物・構築物……………定額法

導管・機械装置・メーター・器具備品…定率法

無形固定資産

諸利用権……………定額法

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金……………債権の貸倒れによる損失に備えるため、税法基準により回収不能見込額を計上しております。

退職給付引当金……………従業員の退職給付に備えるため、自己都合による期末要支給額及び外部積立資産の見込額に基づき計上しております。

ガスホルダー修繕引当金…ガスホルダーの定期修繕の支出に備えるため、次回修繕見積額を次回修繕までの期間に配分して計上しております。

ガスメーター修繕引当金…ガスメーターの定期交換の支出に備えるため、次回交換見積額を次回交換までの期間に配分して計上しております。

(4) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理……………税抜方式を採用しております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額…………… 2,250,332 千円

(2) 関係会社に対する金銭債権・債務

金銭債務

1年以内に期限到来の固定負債…………… 8,000 千円

短期債務…………… 30,896 千円

3. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額…………… 44,017 円

1株当たり当期純利益…………… 360 円

4. 当期純損益金額

当期純利益…………… 4,325 千円

5. 重要な後発事象

該当事項はありません。

6. その他の注記

記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。